

16 真庭市—インドネシア共和国マカッサル市

提案者：八千代エンジニアリング（株）



真庭モデルによる 脱炭素社会形成推進事業

岡山県真庭市は、木質資源からエネルギー活用することを目標にした「バイオマスタウン真庭構想」を2000年代前半に策定しており、バイオマス資源の活用について早く取り組んできました。近年では、「ゼロカーボンシティまにわ宣言」の実現を目指し、木質バイオマスを利用した発電や有機系廃棄物を資源として再利用する事業に力を入れています。この事業では、真庭市で培った「真庭モデル」をインドネシアのマカッサル市に適用し、マカッサル市で低炭素社会の実現を目指しています。具体的には、有機系廃棄物やし尿汚泥の活用可能性を調査したり、マカッサル市の「バイオマス循環計画」の策定を支援したり、有機系廃棄物を使った資源循環事業の実現可能性を検討しています。

